



关于开始实施友爱事业的通知

友爱事业利用者募集のお知らせ



中国帰国者支援・交流センター于2003年10月正式开始实施友爱事业。

友爱事业，是以高龄归国者为对象所实施的“友爱电话”或“友爱访问”的活动。

“友爱电话”，是支援・交流中心（首都圏中心）用中国语打电话，作为你的谈心伙伴。有必要时，直接到归国者家进行“友爱访问”。这都是免费进行的，希望利用此友爱事业的人，请和本中心联系。

I 友爱事业的概要

- 1) 支援・交流中心进行定期的友爱电话交谈。
- 2) 友爱电话的时间，是除了节假日以外，从星期二到星期日的10点开始到17点之间，你可以选择自己希望的时间，但是，多数人希望同一时间的场合，不能满足希望的时候也会有，请谅解。
- 3) 每次一定要确认下次打电话的日期和时间。
- 4) 支援・交流中心在实施友爱电话中，选定希望进行友爱访问的对象，委托自愿者实施友爱访问。
- 5) 友爱访问，是每月最少一次到家进行访问，可作为你的谈心伙伴。
- 6) 友爱访问的访问时间，大概每次是一个小时到二个小时的程度。

II 友爱事业的对象

友爱事业的实施对象，是归国者及其配偶者，归国三年以上，具备下列两项条件中任何一项的人员。1) 在事业实施之日，大概达到60岁以上，独身一人或只是夫妇二人生活者。2) 其他就是支援・交流中心所长认为有必要作为友爱事业对象的人员。



中国帰国者支援・交流センターでは、2003年10月から友爱事业を開始しました。友爱事业は、高齢帰国者の方を対象に、「友爱電話」や「友爱訪問」を行うものです。「友爱電話」は、支援・交流センター（首都圏センター）が中国語等で電話をして、話し相手になるものです。必要に応じ、直接帰国者のお宅に訪問をする「友爱訪問」も行います。ご利用は無料ですので、友爱事业の利用を希望する方は、当センターにご連絡ください。

I. 友爱事业の概要

1) 支援・交流センターが、定期的に友爱電話を行います。2) 友爱電話の時間は、祝祭日を除く火曜日から日曜日の10時から17時の間で、希望する時間を選ぶことができますが、複数の方が同じ時間を希望した場合は、ご希望に添えない場合もあります。3) 毎回、必ず次回の電話の日時を確認します。4) 支援・交流センターが、友爱電話を実施する中で、友爱訪問を希望する方に対しては当センターで審査の上、ボランティアの方などにお願いして、友爱訪問を実施してもらいます。5) 友爱訪問は、月1回以上自宅を訪問し、話し相手になるものです。6) 友爱訪問の訪問時間は、概ね1時間から2時間程度です。

II. 友爱事业の対象

友爱事业の対象となる方は、帰国者とその配偶者で、帰国後3年を経過した方のうち、次のいずれかの要件を満たす方です。1) 事业実施日において年齢が概ね60歳以上の方で、1人暮らしか夫婦2人だけで生

Ⅲ 申請方法

請与中国帰国者支援・交流中心联系(首都圏中心 03-5807-3171)。然后,会将有关的申请书寄给你。

Ⅳ 利用者の回声

- ◎ 通过友爱电话,2年多的苦恼正在朝着好的方向转变。无论是精神上或其他都是好伙伴,从心里信得着。【夫妇二人生活】
- ◎ 通过和别人谈话,成为交流的好机会。【夫妇二人生活】
- ◎ 这样的事业真是为归国者考虑的。【夫妇二人生活】
- ◎ 通过友爱电话,打消心中的烦恼,心情舒畅了,解除了孤独感。太感谢了。【一人生活】
- ◎ 通过友爱电话,能够自由地述说归国后的感想,加深了互相了解,增进了友谊,取得了很好的效果。遗憾的是,这种友谊交流的路走的太晚了。我们好不容易回到祖国日本,由于年龄的关系,尽管拼命地学习日语,也没有任何效果,和周围的人没法交流,所以处于孤立的地位。由于被人看不起而灰心丧气的时候也不少。我想,如果没有战争,也不会到周围没有亲戚朋友的地步吧。也会和普通日本人一样吧。【夫妇二人生活】



活している方。2)その他支援・交流センター所長が特に必要と認めた方。

Ⅲ. 申請方法

中国帰国者支援・交流センター(首都圏センター:03-5807-3171)にお問合せください。指定の申請書を送付いたします。

Ⅳ. 利用者の声

- ◎ 友爱電話での交流を通じて2年以上悩んでいたことが良い方向に進んでいます。精神面だけでなく他の方面でも良い相談相手になってくれ、心から信頼できます。【夫婦二人暮らし】
- ◎ 人との対話を通じて交流ができる良い機会になります。【夫婦二人暮らし】
- ◎ この事業は帰国者の為に考えてくれています。【夫婦二人暮らし】
- ◎ 友爱電話を通じて悩みを打ち明けると気持ち晴れて、孤独感を解消できることにとても感謝します。【一人暮らし】
- ◎ 友爱電話を通じて自由に帰国後の気持ちを述べる事が出来ました。対話することでお互いの理解も深まり良い効果が出ています。残念なのは、このような交流の機会に出会うのが遅すぎたこと。ようやく祖国日本に帰国しても年齢のせいで日本語の学習に苦戦してなかなか成果が出ない為に周囲の人々との交流ができず孤立した立場に立ってしまいます。中には見下す人もいて落胆することもあり、戦争さえなければこんなふう到现在まで周囲に知人も親戚もないことはなく、普通の日本人と同じように暮らしていただろうと思います。【夫婦二人暮らし】